

大綱6

いきいきと だれもが学べる 心豊かな まちづくり

＜教育、生涯学習、文化、スポーツ・レクリエーション＞

6-1 生きる力を育む学校教育を進める

6-2 生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する

6-3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境を
つくる

6-1 生きる力を育む学校教育を進める

現況と課題

近年、国際社会においては、グローバル化に伴う国際競争が激化する一方で、地球環境問題や食糧・エネルギー問題など社会全体で取り組まなければならない問題が深刻化しています。さらに、21世紀は、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代ともいわれています。

私たちの身近な生活においても、少子高齢化、核家族化などが進展し、子どもたちを取り巻く社会状況は急激に変化しています。

このような状況の中で生きる現代の子どもたちの「知」に目を向けると、基礎・基本の確かな定着やこれらを活用する能力の育成、学習意欲の低下が課題となっています。「徳」「体」については、規範意識・社会性の低下、自尊感情の欠如、生活習慣や食習慣の乱れ、体力の低下や停滞傾向が課題となっています。

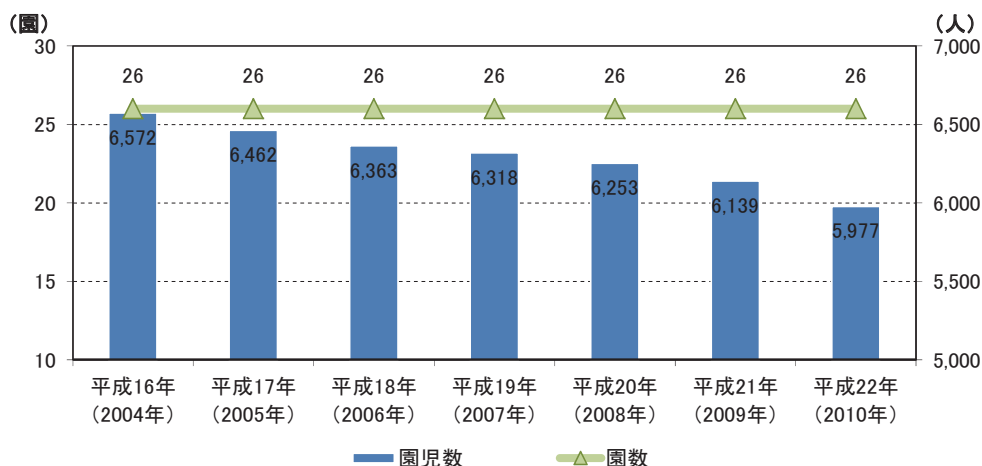
このような現況をふまえると、子どもたちには、基礎的・基本的な知識・技能の習得だけでなく、それらを活用して課題を見出し、解決するための思考力・判断力・表現力等、さらには学び続ける意志や意欲を身に付けることが求められています。また、規範意識、生命の尊重、他者への思いやりなどを培うとともに、発達段階に応じて法やルールを遵守し適切に行動する等の豊かな心を育成することや、積極的に運動に親しむ習慣や望ましい食習慣など健康的な生活習慣を形成し、健やかな体を育成することが必要となります。

そのため、安全で安心な学校環境を整備するとともに、社会の変化に対応した指導力豊かな教員の育成や、特色ある学校づくりを推進するとともに、子どもの障がい等一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな指導を実現し、「生きる力」を育成し、学校教育への信頼を確立することが求められます。

学校では、家庭や地域の教育力を積極的に活用することで相互の連携を深め、それぞれの教育力を高めること、また、地域全体で子どもを育み、市民の一員として協働を基本としたまちづくりに積極的に参加し、郷土の発展に尽力できる人づくりが求められます。

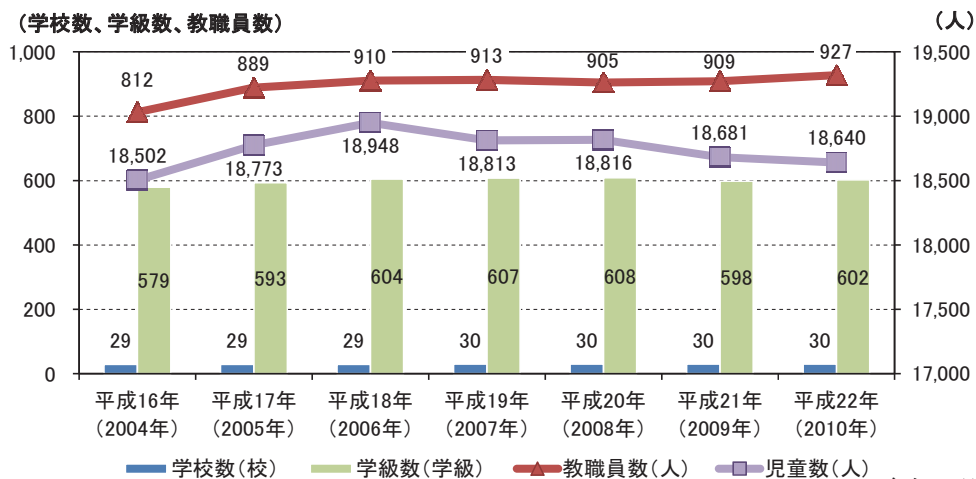
さらに、幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校、学校生活と社会生活などの学校間等の接続を円滑にし、一人ひとりの児童・生徒に生涯学習の基礎を培うための工夫も求められます。

■ 幼稚園数および幼稚園児数の推移



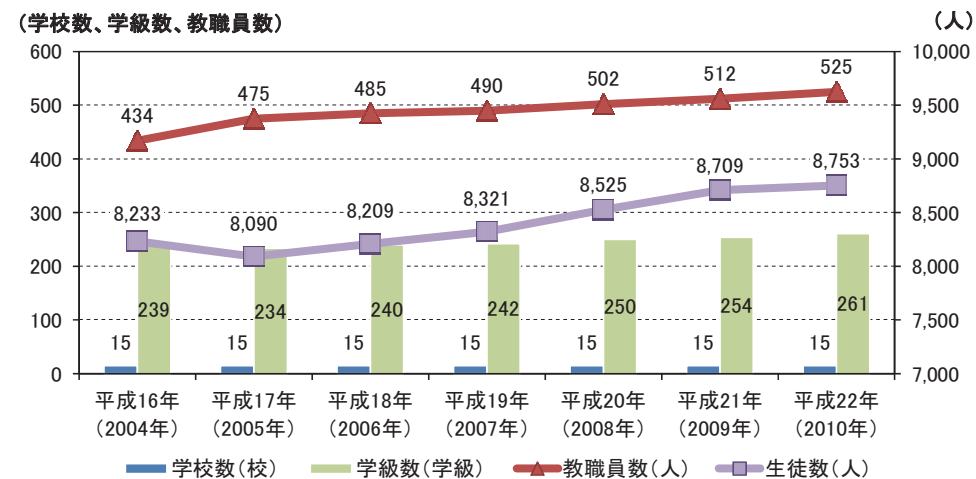
各年5月1日現在
資料：学校基本調査

■ 小学校の状況の推移



各年5月1日現在
資料：教育総務課

■ 中学校の状況の推移



各年5月1日現在
資料：教育総務課

大項目番号	大項目タイトル	中項目番号	中項目タイトル	小項目番号	小項目タイトル
-------	---------	-------	---------	-------	---------

基本方針

次代を担う子どもたちに、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ることができる基盤となる「確かな学力」「豊かな感性と人間性」「たくましく生きるための健康や体力」などの「生きる力」を育みます。

そのために「授業づくり・心づくり・規範づくり」を視点として指導内容の充実と指導方法の工夫改善を目指し、教職員の資質の向上と教育環境の充実を図り、質の高い、わかりやすい授業の創造に努めます。また、学校と家庭・地域との連携のもと、協力体制を整え、信頼され、魅力ある学校づくりに努めます。

施策の体系

6-1 生きる力を育む学校教育を進める			
611	自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む	6111	時代に即した学校教育の推進
		6112	指導内容の充実と指導方法の工夫改善
		6113	幼児期教育の推進
		6114	特別支援教育の推進
		6115	環境教育の充実
		6116	科学教育の充実
		6117	伝統文化を尊重し国際性を育む教育の推進
612	自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む	6121	健康・安全教育の充実
		6122	心の教育の充実
		6123	教育相談の充実
		6124	学校給食の充実と食育の推進
		6125	学校教育における人権教育の推進
613	信頼される、質の高い教育を進める	6131	義務教育施設・環境の整備・充実
		6132	教育センター機能の充実・活用
		6133	教職員の資質の向上
614	保護者・地域との協働を進める	6141	地域に根ざした特色ある学校づくり

施策の内容

■自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む

(中項目番号：611)

時代に即した学校教育を推進し、児童館・科学技術体験センター等を活用した科学教育や、校内通信網（校内LAN）・情報通信技術（ICT）を活用した情報教育、外国語指導助手（ALT）を活用した小学校外国語活動・中学校英語の充実を目指します。あわせて、伝統文化を尊重し国際性を育むための教育や、持続可能な社会を目指す環境教育の充実を図ります。さらに、幼児期教育と学校教育の連携を深め、中学校選択制等を通して各学校間の接続を円滑にするとともに、子どもの障がい等一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな指導を推進します。

■自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む

(中項目番号：612)

他者、社会、自然・環境とふれあう体験活動を充実させ、同和問題をはじめとする人権教育、道徳教育、健康・安全教育を推進します。さらに、生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見・早期解決を目指し、生徒指導・教育相談の充実を図りながら、心の教育を充実します。また、体育・保健体育の授業や中学校の部活動の充実、学校給食の充実と食育の推進を図り、健やかな心身の育成を目指します。

■信頼される、質の高い教育を進める

(中項目番号：613)

教育センター機能の充実・活用と地域の大学との連携等により、越谷市全体の教育力と個々の教職員の資質の向上を図ります。あわせて、学校自己評価等の実施・公表を推進し、学校の教育水準の向上・保証を図ります。また、学校施設耐震化計画の推進等、義務教育施設の整備・充実や人的支援を有効適切に行い、子どもに豊かな学びが実現されるよう各学校の実態に応じた支援を行います。

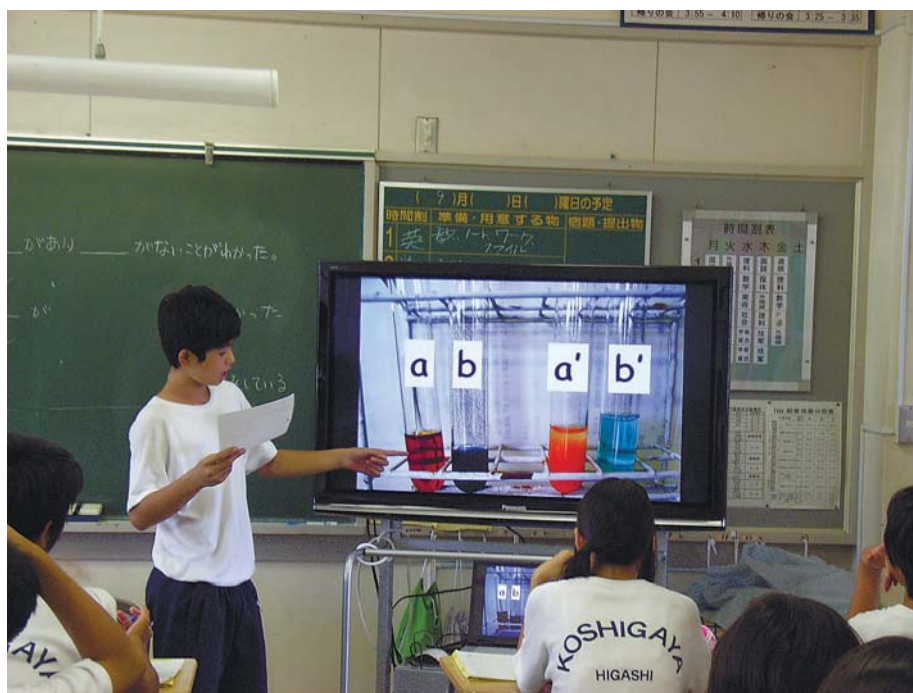
■保護者・地域との協働を進める

(中項目番号：614)

学校における学習活動や安全確保、環境整備などの活動を通じて、学校と保護者・地域の連携を深めながら、地域全体で子どもを見守り、育てる体制を整備します。そして地域の教育力を学校に取り込むとともに、地域を学びの場としながら、地域に根ざした特色ある教育活動を展開します。また、社会全体で子どもを育てる体制づくりにも努めます。

主な事業・指標

(中項目番号) 事業名	事業内容	指標名	
		現況値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)
(611) 校内系ネットワーク 運用事業	市内45校の全児童生徒の情報活用能力を向上させ、児童生徒の論理的な思考力、創造力および表現力等を高めるため、学校内のICT機器の整備等を行います。また、機器の入れ替えに伴う、ハード面、ソフト面の充実を計画的に行います。	プレゼンテーションソフトを活用した学習を行う児童・生徒数の割合 68.0%	100%
(611) 障がい児就学支援 事業	障がいのある児童生徒一人ひとりに応じた適切な就学を図るため、越谷市障害児就学支援委員会条例に基づき適切な就学支援を行います。	特別支援教育に関する校内研修会開催率 30.0%	100%
(611) 特別支援教育訪問 指導推進事業	通常の学級並びに特別支援学級に在籍する、特別な配慮を要する児童生徒のために、専門家の訪問指導の充実を図ります。	学習障がい児等訪問指導実施回数(各校平均) 0.4回	3回
(611) 環境教育推進事業	主体的に環境保全活動を実践する態度を養うため、各教科や総合的な学習の時間などを活用し、学校の教育活動全体を通じた環境教育を推進します。	環境教育コンテンツ活用実施率 —	100%
(611) 日本伝統文化推進 事業	子どもたちのたくましく生きる力を養うため、小・中学生に様々な体験や本物に触れる機会を設けます。また、豊かな心を育成するため、伝統芸術に触れる機会を設けます。	日本伝統文化講師派遣クラブ数(中学校) 35クラブ	45クラブ
(612) 食育推進事業	学校・家庭・地域の連携による食育を推進するため、栄養士の学校訪問による食指導の充実や地場農産物の活用等を行います。また、食への関心を深めるため、給食だより、レシピ集の発行や児童生徒が考えた献立の導入等を行います。	地場農産物の使用数 8品目	12品目
(613) 小・中学校施設 耐震化事業	児童生徒の安全な学習環境等を確保するため、「学校施設耐震化計画」に基づき、平成24年度完了を目指し、小中学校施設の耐震補強工事を行います。	小・中学校施設の耐震化率 50.6%	100%
(613) 小・中学校施設 改修事業	安全で快適な学習環境を確保するため、老朽化による早急な対応が必要な箇所から計画的に小中学校施設の改修等を行います。また、施設・設備等のバリアフリー化を図ります。	小・中学校施設のバリアフリー化率 40.0%	68.8%
(613) 臨時教職員配置事業	きめ細かな指導の推進のため、市費による病休代替、欠員補充代替、特別支援教育支援員、日本語指導員等の配置を行います。	特別支援教育支援員配置割合 61.5%	100%
(613) 教職員資質向上事業	教職員の資質向上を図るため、出前研修や大学教授等を招聘した専門性の高い研修など、内容や方法を充実した各種研修等を開催します。	「ICTパソコン」活用力段階表 5段階達成率 —	100%
		「外国語活動指導状況」段階表 3段階達成率 —	100%
(614) 学校応援団推進事業	学校・家庭・地域が一体となった子どもの育成の推進を図るため、「学校応援団」の活動を通じて、学校図書館運営ボランティアをはじめ、学習活動、安全確保、環境整備などのボランティアとして保護者や地域住民の参加を積極的に進めます。	「学校応援団」のコーディネーターとボランティアとの連絡協議会(年3回)の開催率 —	100%



6-2 生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する

現況と課題

少子高齢化・高度情報化・国際化などの急激な社会変化を背景に、これらに対応するための知識や技術などを身につけることが求められています。また、余暇時間の増大等に伴い、人々の価値観も、ものの豊かさから心の豊かさを求めるものへと変化してきています。こうした中で、多様化・高度化する学習ニーズへの的確な対応と生涯にわたって学習できる環境づくりが課題となっています。また、学んだ知識を地域やまちづくり等に生かしていくなど、生涯学習活動を地域社会の活性化に結びつけていくことが求められています。

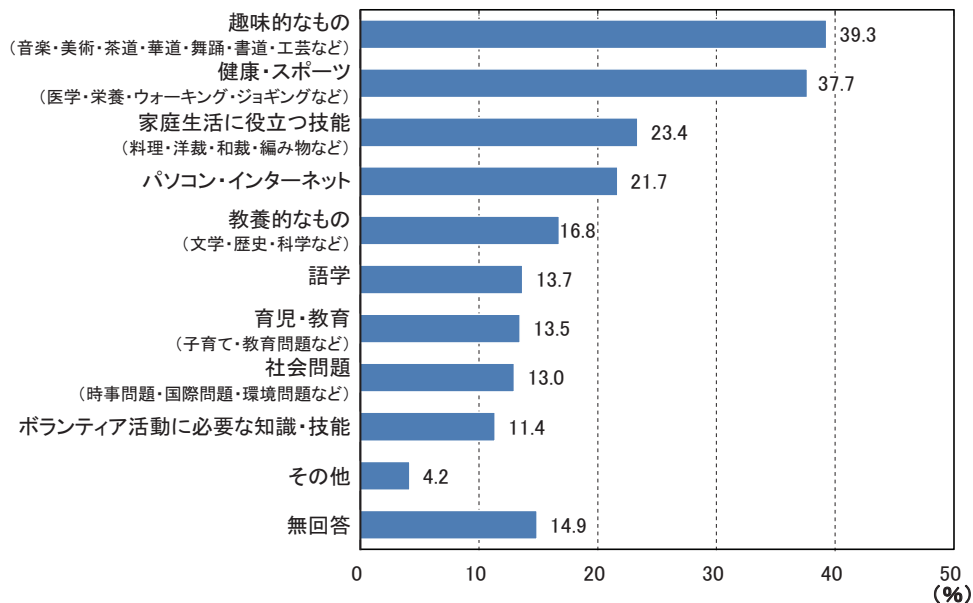
幅広い市民の読書ニーズに応えるために、蔵書を計画的に確保し、読書案内や参考（レファレンス）業務、障がい者や児童などへのサービスを充実するなど、より市民に親しまれる図書館サービスを提供するとともに、今後は高度情報化社会に対応した情報センターとしての機能を有した新たな図書館の建設が求められています。

芸術文化は、市民に心の豊かさやうるおいをもたらすことから、優れた芸術文化に身近に接し、自主的に文化活動に参加できる環境づくりが求められています。

文化財や伝統文化などは、地域の歴史や文化を理解するうえで貴重なものであり、市民共有の財産として大切に保存し、次世代へ継承するとともに、これらの文化的遺産を活用し、郷土の歴史・文化に対する市民の理解を深めていくことが必要です。

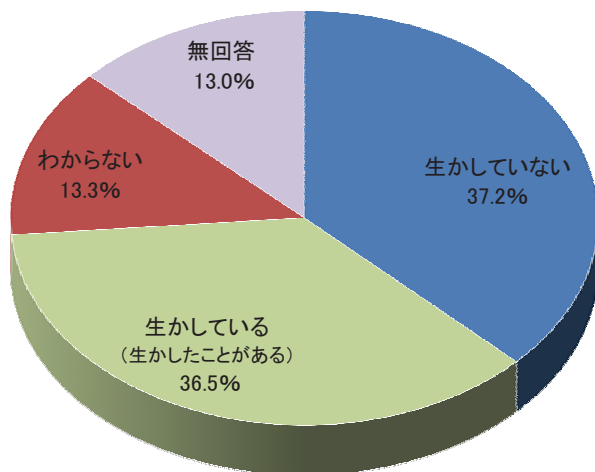


■ 講座・教室の開催希望



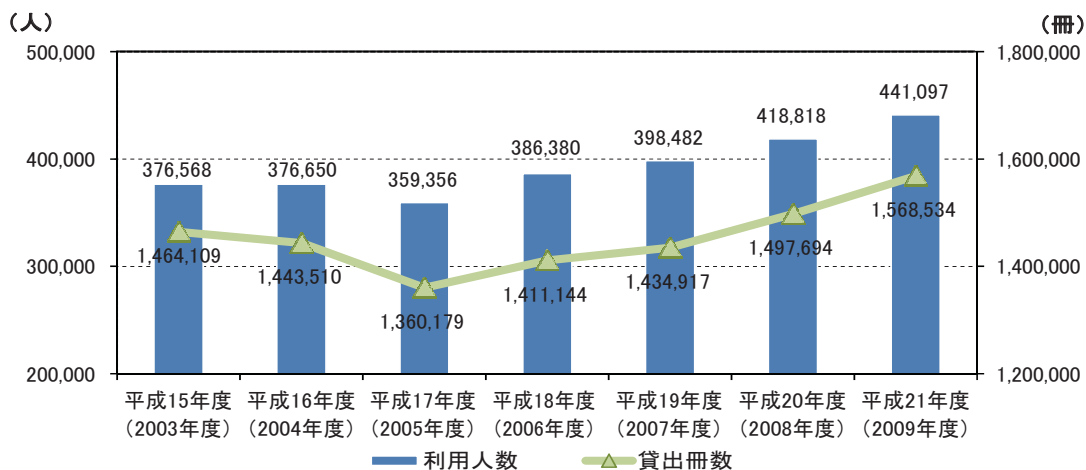
資料：平成 22 年度市政世論調査

■ 学んだ知識・経験・技能の活用状況



資料：平成 22 年度市政世論調査

■ 市立図書館利用状況（本館・北部市民会館図書室・南部図書室・移動図書館）



資料：図書館

■指定文化財一覧

No.	指定区分	種別・種類	名称(ふりがな)
1	国	記・天	こしがやのしらこぼと 越ヶ谷のシラコバト
2	県	有・彫	もくぞうでんしょうかんのんぼさつざう 木造伝正観音菩薩坐像
3	県	有・考	にじゅういちぶつしたしいしうば 廿一仏板石塔婆
4	県	民・無民	しもまくりのししまい 下間久里の獅子舞
5	県	記・史	がもうのいちりづか 蒲生の一里塚
6	県	記・天	ひさいずじんじやのふじ 久伊豆神社のフジ
7	県	記・旧	ひらたあつたわかくうあと 平田篤胤仮寓跡
8	県	民・無民	またかわさきのむしおい 北川崎の虫追い
9	市	有・建	だいしよじのさんもん 大聖寺の山門
10	市	有・建	なかむらけじゆうたくつき おもてもん 中村家住宅 付 表門
11	市	有・絵	さいとうよまきいさく(ふうけい) 齋藤豊作遺作「風景」
12	市	有・絵	ちようふんさいえいしひつ「かわらねための図」 鳥文斎栄之筆「瓦管根溜井図」
13	市	有・工	のじまじようざんじのおおわにくち 野島浄山寺の大鰐口
14	市	有・工	かけぼとけ 懸仏
15	市	有・工	りんせんじのこうろ 林泉寺の香炉
16	市	有・彫	あんこくのえんくうぶつ 安国寺の円空仏
17	市	有・彫	せいふくいんのえんくうぶつ 西福院の円空仏
18	市	有・彫	こうふくいんのえんくうぶつ 弘福院の円空仏
19	市	有・彫	もくぞうあみだによらいりゆうぞう 木造阿弥陀如来立像
20	市	有・彫	もくぞうあみだによらいざぞう 木造阿弥陀如来坐像
21	市	有・彫	もくぞうあみだによらいざぞう 木造阿弥陀如来坐像
22	市	有・彫	もくぞうあいだしちざえもんふうふざぞう 木造会田七左衛門夫婦坐像
23	市	有・彫	もくぞうじぞうぼさつりゆうぞう 木造地藏菩薩立像
24	市	有・彫	もくぞうしやくによらいねほんぞう 木造釈迦如来涅槃像
25	市	有・彫	かとりじんじやのちようこく 香取神社の彫刻
26	市	有・彫	どうぞうごちによらいりゆうぞう 銅造五智如来立像
27	市	有・彫	どうぞうあみだによらいりゆうぞう 銅造阿弥陀如来立像
28	市	有・古	ほうじよううしげおきてがき 北条氏繁誓書
29	市	有・古	いなびぜんさしぞえしよ 伊奈備前差添書
30	市	有・古	ほんじんしりよういつかつ(ふくいけもんじよ) 本陣資料一括(福井家文書)
31	市	有・古	じようざんじのしゆいんじよう 浄山寺の朱印状
32	市	有・古	だいだいのしゆいんじよう 代々の朱印状
33	市	有・古	じりようきしんしゆいんじよう 寺領寄進朱印状
34	市	有・古	かんちこくししよじよう 観智国師書状
35	市	有・古	にしかたむらきゆうき 西方村旧記

No.	指定区分	種別・種類	名称(ふりがな)
36	市	有・考	けんちようがんにんいたび 建長元年板碑
37	市	有・考	ぶんめいさんねんじゆうざんぶついたび 文明3年十三仏板碑
38	市	有・考	ぶんなきさんねんちくじみようごういたび 文和3年六字名号板碑
39	市	有・考	じようじろくねんなじだいたいもくいたび 貞治6年七字題目板碑
40	市	有・考	てんもんにじゆうにねんみださんぞんざういたび 天文22年弥陀三尊图像板碑
41	市	有・考	じようおうちにねんこうしんどう 承応2年庚申塔
42	市	有・考	にじゅういちぶつしたしいしうば 廿一仏板石塔婆
43	市	有・歴	とくがわいえやすのやく 徳川家康の夜具
44	市	有・歴	せいぞういんのさんもん 清蔵院の山門
45	市	有・歴	いちじゆういんのたてく 一乗院の建具
46	市	有・歴	あいだけれきだいのほしよ 会田家歴代の墓所
47	市	有・歴	どんりゆうじようにんくうほせき 吞龍上人供養墓石
48	市	有・歴	ひらたあつたねほうのうおおえま 平田篤胤奉納大絵馬
49	市	有・歴	こしがやござんくうほせき 越谷吾山供養墓石
50	市	有・歴	きんみんききゆうさいのひ 窮民救济の碑
51	市	有・歴	こしまきなかしんでんのおひしやさいれいちょう 越巻中新田の産社祭礼帳
52	市	有・歴	こしがやじんせいいかんれんしりよう 越ヶ谷順正会関連資料
53	市	民・有民	だいろくてんのさんかく 第六天の算額
54	市	民・有民	「かんのんどうのえんにちふうけい」えま 「観音堂の縁日風景」絵馬
55	市	民・無民	こしがやのきやりうた 越谷の木遣歌
56	市	記・史	みたかたいせき 見田方遺跡
57	市	記・史	しよじよういんかいざんづか 清浄院開山塚
58	市	記・史	こしがやござんくう 越谷吾山句碑
59	市	記・名	ひさいずじんじやしやそう 久伊豆神社社叢
60	市	記・天	りんせんじこまどめのまき 林泉寺駒止のマキ
61	市	記・天	らくうしよウ ラクウシヨウ
62	市	記・天	ありたきけのたぶのき 有瀧家のタブノキ
63	市	記・天	だいでいしよじのたぶのき 大聖寺のタブノキ
64	市	記・天	せんげんじんじやのけやまき 浅間神社のケヤキ
65	市	記・天	なかむらけのいちよう 中村家のイチヨウ
66	市	記・天	じようとくじのいちよう 聖徳寺のイチヨウ
67	市	記・天	もりけのいちよう 森家のイチヨウ
68	市	記・天	たなかけのくすのき 田中家のクスノキ
69	市	記・天	なかむらけのくすのき 中村家のクスノキ
70	市	記・旧	こしがやごてんあと 越ヶ谷御殿跡
71	市	記・旧	せんとくまるくようとう 千徳丸供養塔

<凡例>

有・建	有形文化財 建造物	有・考	有形文化財 考古資料	記・旧	記念物 旧跡
有・絵	有形文化財 絵画	有・歴	有形文化財 歴史資料	記・名	記念物 名勝
有・彫	有形文化財 彫刻	民・有民	民俗文化財 有形民俗文化財	記・天	記念物 天然記念物
有・工	有形文化財 工芸品	民・無民	民俗文化財 無形民俗文化財		
有・古	有形文化財 古文書	記・史	記念物 史跡		

平成22年12月現在
資料：生涯学習課

【施策の体系の見方】

大項目番号	大項目タイトル	小項目番号	小項目タイトル
		中項目番号	中項目タイトル

基本方針

市民の学習ニーズが多様化・高度化する中、市民一人ひとりが生涯にわたり主体的に学習できる環境づくりを推進します。また、学んだ成果を地域に生かし、市民との協働による生涯学習のまちづくりを進めます。

図書館については、生涯学習の拠点として図書資料の収集と保存を積極的に進めながら、施設・設備の改修に努めるとともに、新たな施設の整備等を検討し、より快適で利用しやすい環境づくりを図ります。

また、文化施設を活用して、優れた芸術文化に接する機会を提供するとともに、多彩な芸術文化事業を実施し、文化団体の自主的な活動への支援を行い、特色ある地域文化の振興と普及を図ります。

さらに、文化財や伝統文化などについては、市民共有の貴重な財産として、また、まちづくりの貴重な資源として保存・継承・活用を図ります。

施策の体系

6-2 生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する			
621	生涯を通じた学習活動を推進する	6211	推進体制の充実
		6212	学習活動の充実と学習成果の活用
		6213	社会教育における人権教育の推進
		6214	図書館の充実
622	芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承する	6221	芸術文化活動の推進
		6222	特色ある地域文化の振興および普及
		6223	文化財の保存・活用

施策の内容

■生涯を通じた学習活動を推進する

(中項目番号：621)

市民が自主的・主体的に生涯学習活動に取り組むことができるよう、関係団体と連携した推進体制の充実を図ります。また、地区センター・公民館を中心に、多様化・高度化する市民の学習ニーズに的確に対応した各種学級・講座等を開催するとともに、様々な学習情報を提供し、学習活動の充実に努めます。さらに、学んだ成果を地域社会に生かし、新たな学習につなげていけるよう支援します。

人権教育については、人権・同和問題について正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図ります。

図書館については、多様化する市民の読書ニーズに応じた図書資料の整備により、各ライフステージごとの読書活動の支援に努めるとともに、高度情報化社会に対応した情報センターとして、課題解決や調査研究の支援機能を有した新たな図書室の整備と図書館の建設について検討します。また、学校や関連施設等と連携し、子どもの読書活動の推進を図ります。

■芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承する

(中項目番号：622)

市民文化祭の開催や文化総合誌の刊行などの芸術文化事業を実施するとともに、文化団体の自主的な活動を支援します。

また、日本文化伝承の館こしがや能楽堂を拠点に、能公演や体験教室などを開催し、能楽まちづくりを推進するとともに、伝統文化に触れ・学び・成果を発表するなど、特色ある地域文化の振興と普及に努めます。

さらに、市内に所在する指定文化財をはじめ、地域に残る民俗資料などの保存・活用を図りながら、先人たちが育んできた越谷の歴史や伝統文化の継承に努めます。

主な事業・指標

(中項目番号) 事業名	事業内容	指標名		
		現況値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	
(621) 生涯学習推進事業	生涯学習活動の推進を図るため、関係団体と連携し推進体制の充実を図ります。また、市民の多様な学習ニーズに対応できるよう、各種学習情報を提供し生涯学習を推進します。	生涯学習リーダーバンク登録者 件数、クラブ・サークル・団体 ガイド登録件数	811件	900件
(621) 各種学級・講座開催 事業	市民が「いつでも、どこでも、だれでも」ライフステージ・ライフスタイルに応じて主体的に学ぶことができるよう、各種学級・講座・講習会などを開催し、学習機会の充実を図ります。また、講座等終了後の学習活動の継続を推進するとともに、学習成果を地域社会に生かし、生涯学習によるまちづくりを推進します。	各種学級・講座の参加者数	37,626人	38,000人
(621) (仮称)中央図書室 整備事業	市民の学習ニーズに対応するため、利便性の高い場所に図書室を整備します。	図書室(整備数)	2室	3室
(621) (仮称)第2図書館 建設事業	情報センターとしての機能を有した、新たな図書館の建設について検討を進めます。	図書館の建設・整備数 (整備手法等の検討を含む)	1館	2館
(621) 蔵書等整備事業	蔵書の整備と図書館資料の有効利用を図るため、資料の整理・製本、図書情報の作成等を行います。	市民1人あたりの図書貸出冊数	4.8冊	5.3冊
(622) 展覧会開催事業	芸術文化活動の普及と推進を図るため、市内美術家の作品を広く公募し、入選した作品等を公開します。	市展会期中の入場者数	4,015人	4,050人
(622) 伝統芸術文化振興 事業	伝統芸術文化への理解を深め、特色ある地域文化を育むため、こしがや薪能や能楽体験教室など、市民に伝統芸術文化を鑑賞する機会や体験・発表の場を提供します。また、郷土芸能の保存と継承を図るため、郷土芸能祭等を開催します。	伝統芸術文化振興事業入場者数	1,471人	1,500人



6-3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる

現況と課題

本市では、昭和49年（1974年）に「スポーツ・レクリエーション都市」を宣言し、関係団体やその構成員一人ひとりの積極的な活動に支えられ、市民と協働によるスポーツ・レクリエーションの振興を進めてきました。

近年の様々な社会環境の変化、生活意識の多様化などにより、市民のライフスタイルは変化し、スポーツ・レクリエーションに対するニーズも多様化、高度化しており、「いつでも、どこでも、だれもが、自分らしく、いきいきと」生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションに親しみ、楽しみ、参加できる環境の整備が求められています。

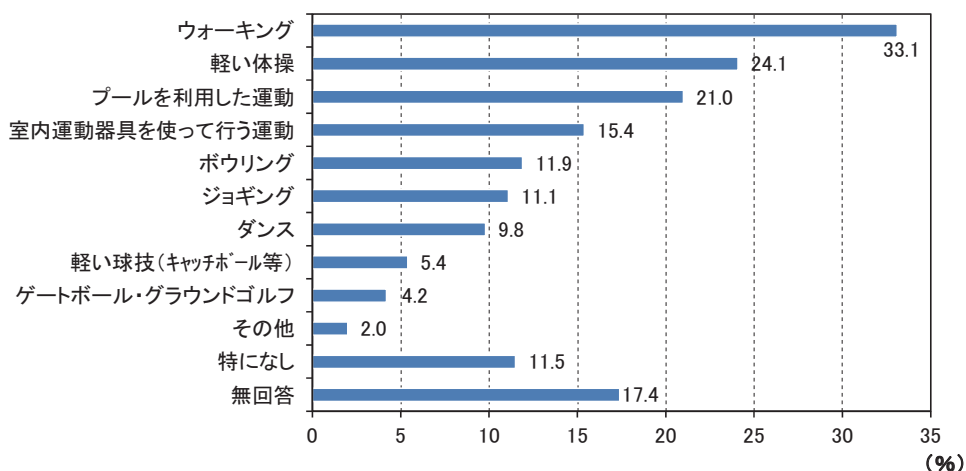
生涯にわたり、多くの市民がスポーツ・レクリエーション活動に取り組めるよう、活動に関する情報提供や活動機会を一層充実・発展させるとともに、指導者を養成・確保するなど、市民の活動を支援する体制づくりが重要となっています。

また、身近な地域で気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるような場づくりや、施設・設備の改善などが望まれています。体育施設を安全・安心に利用できるよう、施設の整備と管理運営を充実するとともに、身近な自然環境と親しみながら、ジョギング、ウォーキングなどで健康・体力づくりができるレクリエーション施設の整備が求められています。

さらに、高齢化の進展や子どもの体力の低下などを背景に、健康に対する市民の関心は高まっており、健康・体力づくりにおけるスポーツ・レクリエーション活動の役割は一層重要となっています。子どもたちの健全な育成、成人の健康維持増進、高齢者や障がい者の生きがいや社会参加を促進し、市民一人ひとりのライフスタイルにあわせた健康・体力づくりを進めていく必要があります。

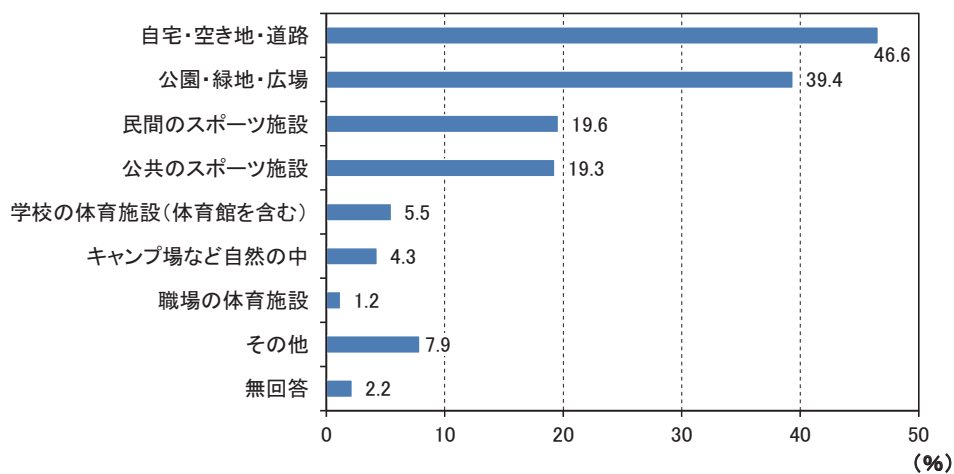


■今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション



資料：平成 22 年度市政世論調査

■スポーツ・レクリエーションを行っている場所



資料：平成 22 年度市政世論調査

基本方針

いつでも、どこでも、だれもが生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、自分らしく、いきいきとした生活を送る環境づくりに取り組みます。

そのため、市民やスポーツ関係団体と市が、協働による取り組みを積極的に展開し、活動のための体制づくりや体育施設の整備・充実を図ることで、生涯スポーツの振興に努めます。

また、すべての市民が生涯にわたり健康で明るく、活力ある市民生活を送れるよう、市民一人ひとりのライフスタイルにあわせた健康・体力づくりを支援します。

大項目番号	大項目タイトル	小項目番号	小項目タイトル
中項目番号	中項目タイトル	小項目番号	小項目タイトル

施策の体系

6-3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる			
631	スポーツ・レクリエーション活動の充実を図る	6311	活動環境の充実
		6312	活動機会の充実
632	スポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実を図る	6321	組織の充実
		6322	指導者の養成・確保
633	スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る	6331	施設の整備・充実
634	健康ライフスタイルづくりを支援する	6341	子どもの健康・体力づくりの支援
		6342	成人の健康・体力づくりの支援
		6343	高齢者の健康づくりの支援
		6344	障がい者の健康づくりの支援

施策の内容

■スポーツ・レクリエーション活動の充実を図る

(中項目番号：631)

健康でいきいきとした生活が送れるよう、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報提供や相談への対応など活動しやすい環境の充実に努めるとともに、生涯スポーツ講座や市民体育祭をはじめとするスポーツ・レクリエーション事業を実施し、多様な活動機会の充実に努めます。

■スポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実を図る

(中項目番号：632)

市民が様々なスポーツ・レクリエーション活動に取り組めるよう、体育協会、レクリエーション協会、スポーツ・レクリエーション推進委員会、体育指導委員をはじめとした市民のスポーツ関係団体の自主的・主体的な活動を支援するとともに、これらの活動を基盤とした、市民の積極的な参画により「総合型地域スポーツクラブ」の設立を促進します。

また、学校部活動をはじめ、スポーツ・レクリエーションの指導者の養成・確保に努めるとともに、地域、企業、大学などから参加者を募り「スポーツボランティア」を組織し、市民のスポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実に努めます。

■スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る

(中項目番号：633)

多くの市民が、身近な施設でスポーツ・レクリエーション活動に親しめるよう、体育施設の整備と管理運営の充実を図ります。

また、水辺や緑道など身近な自然環境と親しみながら、健康・体力づくりができるよう、河川沿い、公園、広場などを活用した、ウォーキングコース、ジョギングコース、サイクリングコースなどレクリエーション施設の整備について調査研究に努め、だれもが利用できるスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ります。

■健康ライフスタイルづくりを支援する

(中項目番号：634)

学校、家庭、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を推進し、子どもたちの心身の健全な育成を図るとともに、スポーツ・レクリエーション活動と生活習慣の改善を含めた健康づくり事業を推進し、成人の健康・体力の維持増進を図ります。

また、高齢者や障がい者の生きがいや社会参加を促進するため、年齢や心身の状況に応じ、無理なくスポーツ・レクリエーション活動に取り組めるよう、活動環境・機会の充実を図るとともに、市民が相互に支えあう支援体制をつくります。

主な事業・指標

(中項目番号) 事業名	事業内容	指標名		
		現況値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)	
(631) 各種教室・講座等 開催事業	市民ニーズに応じたスポーツ・レクリエーション活動の機会充実を図るため、ライフスタイルにあわせた参加しやすい教室・講座を開催します。	スポーツ・レクリエーション 事業への参加者数	805,050人	842,000人
(632) ボランティア活動 促進事業	大会やイベント等の運営には、多くの役員の協力が必要であることから、スポーツボランティアの養成と組織化を図り、市民のボランティア活動を促進します。	スポーツボランティア登録者数	—	50人
(632) スポーツリーダー バンク事業	スポーツ・レクリエーション活動には、適格な指導者が必要であることから、各種スポーツ活動の指導者を登録し、地域、各種団体、スポーツクラブ等からの派遣要請に応じ紹介する「スポーツリーダーバンク」について、市民への周知と登録を促進します。	スポーツリーダーバンク 登録者数	118人	155人
(633) 市立体育館施設改修 事業	地域体育館を安全・安心に利用できるよう、施設の修繕・改修を行うとともに、老朽化が進む第1・2体育館については、隣接する大沢地区センター・公民館との複合施設として整備を進めます。	体育施設年間利用者数	1,098,995人	1,126,000人
(634) 地域における 子どもの健康・体力 づくり事業	地域において子どもたちがスポーツ・レクリエーション活動に取り組めるよう、スポーツ団体等の活動を支援するとともに、子どもが屋外で積極的に遊べるよう、地域に働きかけ遊びを通じた健康づくりを推進します。	出前講座事業数	—	14事業
(634) 高齢者の活動機会 充実事業	高齢者の健康の保持・増進や生きがいづくりのため、体力・健康状態に応じた運動プログラムの充実など、スポーツ・レクリエーション活動機会の充実を図ります。	健康体操教室の参加者数	2,857人	3,120人

